

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

- ①…巻頭コラム、NPOのひとびと、トピックス
- ②…NPO一日体験、情報掲示板、五軒町だより

編集/発行

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ
 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2丁目2番23号102
 TEL029-300-4321 FAX029-300-4320
 URL <http://www.npocommons.org>
 E-mail info@npocommons.org

第9号
 2003.07

ほしい、NPO融資制度



最近、NPOの繋ぎ融資で苦勞する話が増えている。

コモンズでも委託事業の収入時期が事業終了後であるために、資金繰りが苦しい状況に直面し、とりあえず役員からの借り入れで難を凌いだ。▶現在、NPO法人の場合は信用保証協会の信用保証が受けられないこともあり、金融機関からの借り入れは難しい状況。労働金庫や、一部の信用組合と提携した市民バンクでNPO向けの融資があるが案件はごくわずか。▶こうした状況で、市民やNPOの間でNPO向け融資を行うバンクをつくる動きが各地で広がっている。その代表例ともいえる北海道NPOバンクは、02年秋にできた。NPO事業組合を設け、ここが市民、企業、行政、NPOからの出資を受ける。この組合に集まった資金はNPO法人北海道NPOバンクに全額無利子で融資され、このNPOバンクが各NPO団体を審査して融資を行う仕組み。なお、融資を受けるNPO法人も1万円以上を事業組合に出資する。▶現在4千200万円ほどの財源が集まり、北海道や札幌市も2千万円の資金を拠出している。バンクでは、運転資金の場合は200万円まで、開業資金の場合は100万円までの融資を2%の金利で行っており、既に2千万円を超す融資実績がある。審査部門には会計専門家や銀行関係者が入り、NPOの事業を判断するノウハウが他の金融機関に広がることも目指している。こんなバンクを茨城でも実現していきたい。

(文 横田能洋)

勤労者マルチライフ支援事業
 勤労者ぼらんていあ・ねっと
<http://www.volunteer.net.jp>

余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コモンズは、あなたの社会貢献活動を応援しています！

「セカンドライフ」の充実を！

「既存社会」の见えない壁

世界のこどもネット 吉田里江さん

NPOに共感する人の多くは、既存の社会システムの在り様と自分自身の感性や立場とのギャップが出発点にある。特定非営利活動法人「世界の子どもネット」(事務局・千代田区)の代表理事・吉田里江さん(37)は、県南の中堅都市で、市民運動にかかわり始めた人だが、米国留学で培った自由な精神ゆえに、一地方都市の人々の普通の考え方とぶつかる苦勞もした。

市民社会が困難な土壌



「今になってみると、その町で、活動した10年余りは、神様からの贈り物のような気がします。地域社会がどのようなものか教えてくれたから。言葉の上のきれいな事も欧米理論の真似事も通用しない、地縁と血縁の堅固な世界。日本は現在も、「市民社会」が困難な土壌。それを叩き込まれた感じ」

吉田さんは名古屋生まれ。筑波大学で政治学を学んだ。米国ワシントン州の大学に留学し、NPO活動などに参加・研究した後、帰国。結婚し、県内に居住している。3人の子の母親でもある。

筑波大学の助手をしながら、学童クラブの環境改善、子ども議会の開催など市民活動に携わり始めるのだが、米国仕込みのコミュニケーションの習慣は、初めは事ある毎に、行政や議員と衝突した。意見として述べている事が、行政や議員に、クレームとして受け取られた。やがて地域社会は、吉田さんに「活動家」のレッテルを張り始めた。

子の一人が市民活動の裏返しのように、「からかい」の標的にされ始めてきたこと、海外との交流活動がメインであるため、リソー

ス(情報)が集中している東京へと、活動の場を移す。

以後、NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」、「日本子どもNPOセンター」、東京大学での研究などの仕事をするようになるのだが、途端に物事がスムーズに運ぶようになる。収入もぐんと増えた。

「ずいぶん変革に向けて努力をしたけれど、日本の典型的な地域社会では、『よいことをしているからいいじゃない』という考えは通用しない。でもNPOが地域で活動してゆくための、よいモデルケースになった」

地域社会の壁は、地縁・血縁が濃い社会で生きる人と、新しいネットワークを求める人の決定的な違いをも意味する。

子どもに課題解決術を

既存の社会システムの限界に気付くことができる人とそうでない人がいる。自分が住む地域社会がいかに強固にネットワークされているか、生活に埋没すると、気付くのが難しい。

吉田さんは、国際交流基金日米センターNPOフェローとして、米国で学んできた「サービス・ラーニング」の普及と実践に取り組んでいる。簡単に言えば、小学生以上の子どもたちに、



社会参加を目的に、「地域社会のニーズや問題を発見・解決する方法」を獲得してもらおう、というものだ。米国で10年ほど前から注目され、日本では全く新しい。

青少年期にボランティア活動を経験した人は、将来もボランティアにかかわる傾向がある、と言われる。青少年層の地域社会への無関心度の高さも背景にある。もちろんそのまま「輸入」はしない。

地域社会を変えるかぎは、子ども時代から、地域の問題に気付く、解決する力を養うことにあると確信する。「どれほど簡単な解決案

でも、自分の提案が地域で実現されたら、うれしくない子どもはいないでしょう」と、吉田さんは「楽しさ」の中で、地域を育てる方法を、体得してほしいと願う。

小学生時代に貧しい国々を回って惨状を目にしたこと、高校時代に修道女マザー・テレサと直に会ったことが、社会に向かって「ギブ」する吉田さんのNPOの生き方の原点と言う。

「社会にあふれている、頑張っても頑張っても、環境の故に、浮上するチャンスがつかめない方々の手助けが、私のミッションです」

(文と写真 佐竹明)

TOPICS

Tなどの実務経験者がアウトバイスを行う。

事業は、「ひたちNPOセンター・with you」と「NPOプラザ・ねこね」と、そして「コモンズ」の3団体が県の委託を受けて実施する。

これらの県の事業の説明会と、前号でも紹介した、「協働実現のためのフォーラム」のプレ会議を7月15日(火)に県庁三の丸庁舎で10時より実施する。協働に関心のある方はぜひ、ご参加を。

(文 横田能洋)

行政とNPOの連携・協働実現に向けた動き

業を行う。

生活文化課では、NPOに各種の実務経験や知識をもったアドバイザーを派遣する事業を実施する。この事業はNPOの運営力強化を目的としており、希望するNPO法人に経理、労務、I

茨城県では、各課でNPOとの協働に関する取り組みが行われている。

商工労働部労政課では、国の緊急雇用対策事業に関してNPOから事業アイデアを求めべくアンケートが実施される。この事業は、新規事業により新たな雇用を生み出すもので、積極的に民間の企業やNPOに事業委託することになっている。NPOの提案が取り入れられ県各課または市町村と委託契約を結んだ場合は、委託費により各NPOで求職者を半年間雇用して事

情報掲示板 (今月から来月にかけての催しや人材募集などを掲載しています)

◆◆イベント案内◆◆

■地域福祉を考えるシンポジウム参加者募集

互いに支えあう、新たなまちづくりを考えてみませんか? 市民・行政・社協など協働による課題解決を考えてみませんか? 基調講演「あなたが主役のまちづくり」(秦靖枝さん) 地域福祉計画の内容と取り組みについて(茨城県厚生総務課・木村浩文さん)
日時 7月19日(土) 10時~16時
会場 日立市女性センター多目的ホール
参加費 500円(資料代)
問い合わせ NPO法人ひたちNPOセンター・with you TEL 0294-37-1060

■第5回英語教育セミナー「なぜ?なにを?英語教育ははじめの一步」参加者募集

~英語コミュニケーション能力の基礎を養う授業の工夫~
日時 8月4日(月)13時~16時40分
場所 水戸市民会館
講師 NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所・小野村哲さん
定員 50人(主に県内の小中学校に勤務する教師、または教職を目指す学生など)
問い合わせ NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所 TEL029-856-8143

■共楽館ふれあいまつり参加者募集

「いってみっか!共楽館。平成11年に国有形文化財に登録され、日立市にとってかけがえのない産業遺産となっている共楽館の素晴らしいさを、市民のみなさんと共有したいのです」
日時 7月13日(日)
場所 共楽館および日立市武道館
参加料 無料
問い合わせ 共楽館を考える集い TEL 0294-21-4884

※なお、前日の7月12日(土)午後2時から、恒例の清掃があります。

■「筑波山麓自然学校」参加者募集

「第二回夏の自然講座一夏の昆虫・夜の森観察」
昆虫と環境の関係について、実習中心に学びます。虫の不思議さ、おもしろさを実感しながら、子どもたち楽しく伝えるポイントや図鑑の使い方、スケッチのポイントなどを学びます。夏休みならではの企画です。
日程 7月30日(水)午前 講義(昆虫観察のポイント、分類のいろは、図鑑の使い方)、午後 実習(採集、スケッチ、昆虫と環境の関係について)、夜 夜の昆虫観察
7月31日(木)午前 実習(環境マップの作成、子どもたちの活動のポイント) 午後 講義(茨城の代表的な昆虫、指標となる昆虫について)
場所 筑波ふれあいの里(宿泊も)
講師 廣瀬誠さん(茨城昆虫の会、ヒスマイトトンボの発見者)と秋山昌範さん(環境カウンセラー)
対象 昆虫が好きな方、教員、自然観察の指導者を目指す方(初心者歓迎)の25人
参加費 つくば市在住の方8千円、市外の方9千円。
問い合わせ 筑波ふれあいの里 TEL029-866-1519 FAX029-

866-1513

■子どもの人権公開講演会聴講者募集

「今、子どもたちは一」と題して、子どもの人権問題に取り組む弁護士・津田玄児さんが、最近の子どもたちをめぐる具体的な状況を話します。子どもの問題に関心ある方はぜひ参加を。
日時 7月26日(土)午後2時から
場所 県総合福祉会館中研修室
講師 津田玄児さん(弁護士で子どもの人権研究会代表世話人)
参加費 無料(どなたでも)
問い合わせ 子どものための市民オンブズパースンの会の田中さん TEL029-241-1895

■「NPO失敗大賞」大募集

失敗はNPOが将来に向けてステップ・アップするための財産です。NPOならではの失敗事例を集め、評価するため、「失敗大賞」を公募します。賞金&賞品は、「失敗大賞」(1団体)が7万8千円(七転び八起き)+副賞、「失敗大賞次点」(3団体)が3万3千965円(散々苦勞ごころうさん)+副賞。さらに組織解散例に対する「有終の美賞」(2団体)もあります。
応募締め切り 7月14日(月)
問い合わせ トコボンプロジェクト事務局の土屋さん・前田さん TEL045-722-9674

◆◆助成案内◆◆

■福祉車両(車いす対応車)助成

対象 ボランティア団体、NPO法人
対象活動 ①作業所の活動②障害者の自立生活センターの活動③在宅介護・家事援助活動④移動困難者の外出支援活動(移送サービス)⑤宅老所(民間デイサービス)の活動⑥その他この助成事業の主旨に沿うと判断される活動
対象車両 日本財団仕様車いす対応車の中から1団体1車種
助成金額 日本財団仕様の車いす対応車の本体費用+リフト・スロープなどの特殊装置代(=基準価格)の90%
応募期間 7月31日(木)まで
問い合わせ 日本財団ボランティア支援部「福祉車両(車いす対応車)」係 TEL03-6229-5173

■ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援

対象活動 ①成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動②社会的な受け皿がないために保健・医療が受けられない人たちの心身のケアを支援する活動③障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方の支援活動
対象団体 ①非営利団体であること(法人格の種類や有無は問わない)②国内に活動拠点があること③原則として2年以上の活動実績があること④団体の目的や活動内容が政治・宗教などに偏っていないこと
助成金額 上限300万円。助成総額3千万円、15件程度の助成を行う予定。
助成期間 来年1月~12月末
応募期間 7月18日(金)まで
問い合わせ ファイザープログラム事務局・田村さん TEL03-5309-7057 FAX03-5309-9004 (応募要項は、URL http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/index.html で入手)

NPO 一日体験 レポート

このコーナーは、モニターのみなさんに、県内のNPOを一日体験していただいたレポートを掲載しています。読者の中で、体験を希望される方は、コメントまでご一報ください。



NPO法人「ゆりの会」 水戸市六反田959の3 TEL 029-269-3504

きめ細かな配食サービス

「ゆりの会」は、水戸市常澄の公民館を活動拠点に、高齢者への食事の宅配サービスをしています。99年7月にNPOの認証を受けていますが、その活動は87年から始まり、すでに17年目。時折激しい雨の降る6月25日、私たちはお弁当作りと配達現場へ、おじゃましました。

午前9時、私たちが到着したときには、約12人のスタッフが配膳台に約100個のお弁当箱を並べ、6つある調理台では2、3人が分担し、てきばきと調理を進めていました。みなさんの手際の良さと100枚以上あるお肉に圧倒されつつ、私はトンカツを揚げさせてもらいました。

一枚一枚のお肉を優しくパン粉で包み込む会長の松田さんの手がとても印象的で、それを揚げるスタッフも、トンカツがふっくらと仕上がるようにと、衣のついたお肉を両手で包むように持って

油の中へ。食材に対するスタッフの思いが伝わる瞬間でした。10時45分、7人分のお弁当を積ん



だスタッフの車で配達に同行。配達先は、ひとり暮らしの方やご夫婦でご病気味の方なので、体調を伺ったり、お天気の話をしたり、短いながらも必ず会話を交わすとのこと。ゆりの会の活動は、お弁当を届けるだけではなく、お年寄りの安全確認も兼ねているからです。配達先で体調が悪い方がいらっしゃるときには、松田さんを通じて民生委員や保健師さんに様子を見に行ってくださいということもあるといことです。

ひとり暮らしのお年寄りのお住まいを初めて訪ねた私は、ちょっとカルチャーショック…。同行した7軒だけでも農村部あり、住宅密集地あり。そして、サービスを受ける事情も様々で、お弁当の宅配のニーズはもっとも高いのではないかと感じられました。

私たちが見学に行った翌週からは、共同募金会の支援を得て購入した白衣と帽子、そしてマスクで活動すること。おいしさはもちろん、衛生管理にも万全を期し、少しでも多くのニーズに応えようと努力を怠らない姿勢に多くを学んだ一日でした。(文 菅野ひろみ = このほどコモンズ事務局スタッフに加わりました)

私たちが見学に行った翌週からは、共同募金会の支援を得て購入した白衣と帽子、そしてマスクで活動すること。おいしさはもちろん、衛生管理にも万全を期し、少しでも多くのニーズに応えようと努力を怠らない姿勢に多くを学んだ一日でした。(文 菅野ひろみ = このほどコモンズ事務局スタッフに加わりました)

務局・田村さん TEL03-5309-7057 FAX03-5309-9004 (応募要項は、URL http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/index.html で入手)

◆◆ボランティア募集◆◆

■トールペインティング補助
日時 月曜から金曜日の午前9時半から午後3時半ごろまで
場所 陶工房あさひ(水戸市朝日町、吉田神社近く)
報酬 昼食を用意します
内容 同所作業指導員で、社団法人手芸普及協会講師の鶴田美恵さんと共に、障害のある方たちの作業の補助で、トールペイント用木材や板のカット作業や下地づくりなど。電動工具も使用しますが、手工芸に関心ある女性歓迎します。
問い合わせ 陶工房あさひ TEL・FAX 029-248-4288

五軒町だより 木材店の花壇



車がせわしく行き交う通り。でこぼこの狭い歩道。少し急ぎ足の私。そんな中でも「きれいだな」と一瞬心が和む花壇があります。そこは2丁目にある木材店の入口。今は赤とピンクのペコニアがシンプルに、平坦な外壁の裾を可愛らしく飾っています。来る人通る人に「こんにちは」と微笑んでいるかのようなこの花たちを、季節ごとに植え替え、手入れして育てているのは、とても笑顔のすてきな奥さまでした。

「仕事」ではないし、人のためにしているのでもないかもしれないけれど、こんなふうに、人に、まちに、話しかけるような在り様は素晴らしいと思のです。(文 草間多佳子/絵 赤津勝弘)

本紙常備施設・お店

水戸カトリック教会(水戸市五軒町TEL 029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(大子町大子TEL 02957-2-0708) 自然食レストラン「パンブキン」(北茨城市磯原TEL 0293-42-1818) 常陸太田市生涯学習センター(同市中城TEL 0294-72-8888) カフェ「ピアニッシモ」(水戸市河和田TEL 029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(水戸市石川TEL 029-254-3752) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(水戸市元吉田TEL 029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(水戸市愛宕TEL 029-228-1313) 交流サルーンいばらき(水戸市三の丸東三の丸庁舎TEL 029-302-2160) 水戸市国際交流協会(同市備前町TEL 029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(同市赤塚TEL 029-309-4141) まちの駅みと(水戸市南町東京電力茨城支店内TEL 029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n(リッツン)」(つくば市上原TEL 029-856-0009) つくば市民活動センター(同市吾妻TEL 029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(同市宮中TEL 0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(同市TEL 0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(同町野木TEL 0297-46-3370) ※置いていただけるお店や市民活動拠点などをご紹介します。